

Certificate in English

敦賀 一平さん

CPITは、私にとって夢の扉の鍵でした。香川大学3年のとき、就職活動に励む同期を横目に、私は2007年2月から10月までCPITの英語コースに在学しました。当時の目標と留学の動機は ただ一つ。卒業後にイギリスの大学院へ進学するに足る英語力を身に着けることでした。私は決して英語ができる学生ではなく、日本国内ではいつもクラスの中の下。英語の試験だって自慢じゃないが全くできない。”英語コンプレックス”を抱える学生でした。その私が開発途上国の開発援助に携わる仕事を夢見たのが大学2年の夏。一念発起し、大学3年の冬にCPITへ留学を決めました。ここから私の人生が良い方向に回り始めました。

CPITの授業で決定的に良かったことがあります。それは、会話から英語を学習することに目覚めたことです。それまで英語の勉強と言えば、文法、読み書きが中心で、CPITの会話中心の授業が私の英語力を飛躍的に伸ばしました。人には向き不向きがあって、私の場合 完全に、会話を通じた英語学習があつていたようです。

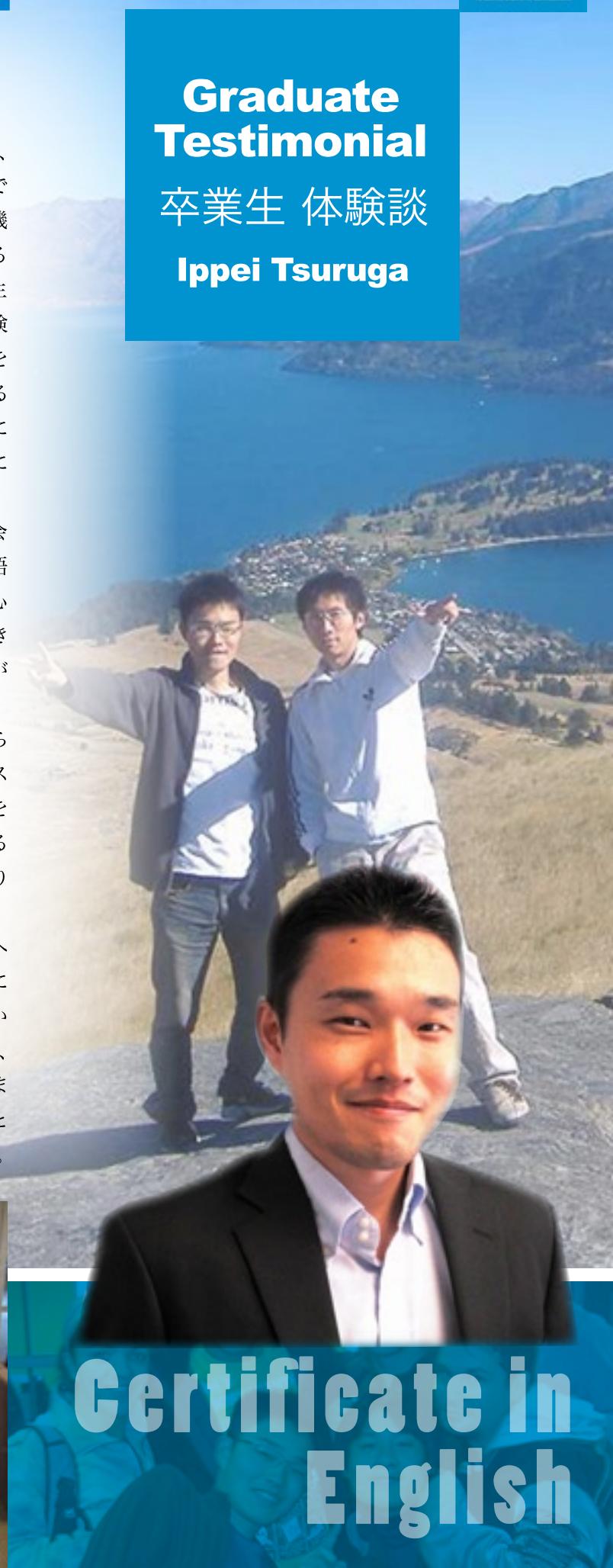
放課後は課外アクティビティへ参加し、週末は世界各国から集まったクラスメイトと一緒にバーへ繰り出しました。ホームステイ先では、夕方家族でソファに座り、寝るまで一緒にテレビを見ながら家族から内容の解説をしてもらっていました。そうすることで、苦手だった英語は みるみる上達し、今でも読み書きよりも会話に自信があるほどです。

こうして上達した英語力を携え、私は無事イギリスの大学院へ進学することになりました。開発途上国の経済や貧困削減について学び、現在まで一貫して、開発援助の仕事に携わっています。これまで、カンボジア、ケニア、ナイジェリア、ソマリアなど、そのほか多くのアジア・アフリカの人々のために仕事をしてきました。現在は、アメリカ合衆国首都ワシントンDCで駐在員として日々、多種多様な人々と一緒に開発援助の仕事をしています。

Graduate Testimonial

卒業生 体験談

Ippei Tsuruga



Certificate in English

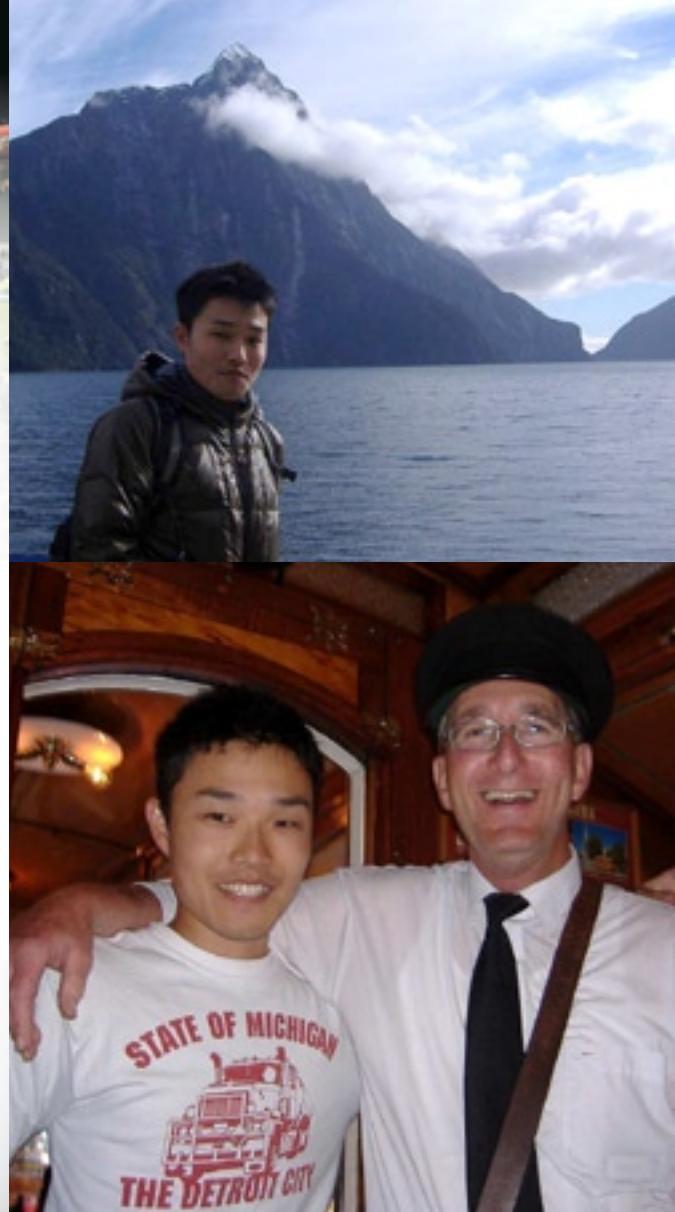
CPITで学んだことで私の夢の扉は開きました。

そういうわけで、CPITで学んだことで私の夢の扉は開きました。語学以外についても、ニュージーランド、クライストチャーチを選んでとてもよかったです。広大な国土と低い人口密度。大自然に囲まれて育つ子供たち。卒業後に多くの国を訪れ、住んできましたが、クライストチャーチの住み心地が一番だと感じています。

食文化もまた、私の素敵なもの1ページです。週一回は食べていたフィッシュ&チップス。イギリスでも何度も食べてみましたが、やはりクライストチャーチで食べたフィッシュ&チップスが忘れられません。また、下校途中に挽肉たっぷりのミンスパイを買い食いして帰ったこともよい思い出です。

南島を旅行したことよく覚えています。それぞれの町には歴史があります。例えば、スコットランド人が入植してきた町は石造りの建物が多くたりと、町全体が歴史を語ってくれます。また、大自然の芸術、米尔福德サウンド、マウントクック、テカポ湖は圧巻でした。

自然、歴史、文化がそろそろ南島に半年以上滞在できたことは私の人生の価値観を広げてくれました。いつか(老後は?)、ニュージーランドへ移住し、ゆったりした生活を送れる日を夢見ています。これから留学を考えている方は、目標をしっかりと持ち、ニュージーランドを貪欲に楽しむことを心がけていただければと思います。留学生活は長くても数か月から1年程度です。しかし、CPIT、クライストチャーチはそれ以上の何か、人生を変える何かを与えてくれることだと思います。



進学先 / 大学院 - イギリス

就職先 / 国際協力機構(JICA) ワシントンDC駐在員 - アメリカ合衆国
<http://ippeitsuruga.com/ja/>



クライストチャーチ・ポリテクニック工科大学
Christchurch Polytechnic Institute of Technology
Madras Street, PO Box 540
Christchurch 8140 New Zealand
Telephone : +64-3-940-8725
E-mail : tim.hayashi@cpit.ac.nz
www.cpit.ac.nz/international

CPIT.International

CPIT
TE MĀTĀPUA-E TE MĀRIRAKA